

グリーン連合

2020.6.24

グリーン・ウォッチ2020発行記念シンポジウム

オンライン開催

環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)の脅威に改めてどう対処すべきか？

NPO法人「ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議」代表

「グリーン連合」共同代表

弁護士 中下裕子

環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)とは？

● ホルモン

生体の体内で、受容体との結合を通じて臓器や組織間の情報伝達に用いられる化学物質

● 環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)

ホルモンではないのに、ホルモンの受容体に結合することにより、正常なホルモンの働きをかく乱する人工化学物質

● コルボーンら著『奪われし未来』(1997年日本語版発行)により、世界的な注目を集めた

● 従来の考え方では安全とされるような微量であっても、ホルモンかく乱によって、人の健康に影響を及ぼすことがある!!



従来のリスク評価による規制では、健康を保持できない

ホルモンかく乱による健康への影響

- 胎児・子どもの脳の発達・・・有機リン系、ネオニコチノイド系農薬など

甲状腺ホルモンのかく乱



認知機能低下、発達障害など

- 肥満・糖尿病、心臓病の原因・・・ビスフェノールA (BPA)
フタル酸エステル類

BPA→未分化の細胞を脂肪細胞に

BPA→心臓を守るアディポネクチンの機能をかく乱

フタル酸→体内の代謝かく乱→糖分・脂肪の増加

フタル酸→テストステロン(男性ホルモン)阻害→心臓疾患

EUにおける内分泌かく乱化学物質の規制動向

- 1999年 「内分泌かく乱化学物質(EDC)に対する共同体戦略」策定
予防原則に基づく早期対策のための研究に着手
- 2006年 一般化学品規制「REACH」
EDCは「高懸念化学物質」(SVHC)として認可対象に
- 2009年 植物保護製品(農薬)規制、EDCは原則禁止に
- 2012年 殺生物製品(農業用以外の殺虫・殺菌剤対象)規制、
EDCは原則禁止に
- 2018年 植物保護製品規則、殺生物製品規則におけるEDC基準発効



世界で初めて、EDC規制を実施

日本では・・・

- 1998「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」策定
67物質の環境ホルモンリスト公表
スタートはEUよりも早かった!?
- 中西準子氏ら「環境ホルモン空騒ぎ」論の台頭
 - ➡ 環境省、環境ホルモンリスト廃止し、
計画を大幅に縮小（「ExTEND2005」）
 - ➡ 「環境ホルモン問題は終わった」ことに

子ども達の出生・発達の異常はその後も 続いている...

- 子どもの喘息・アレルギー

子どもの喘息 1970-2013年 約10倍に増加

- 男児の生殖器官の異常(停留精巣、尿道下裂)

尿道下裂 1974-2011年 約5倍に増加

- 不妊

2015 不妊治療者 18.2%(5.5組に1人)

- 出生性比(男性の出生割合)の変化

1910-1970 性比上昇 1971以降 低下傾向

- 子どもの肥満

1970代 5%以下→現在 10%超

- 発達障害児

特別支援学級在籍児童・生徒数の急激な増加

提言

- 日本でもEDCについての規制を開始すること
特に、農薬類、化粧品、日用品、食品・飲料
水など
- できるだけ有機の食品を摂取すること
- プラスチック製品の使用を減らすこと
- 殺虫剤・殺菌剤の使用を必要最小限に
過剰な塩素系消毒薬の使用をやめましょう！

—ご清聴ありがとうございました!!